

改修工事に年30件超受注

アミックス 銭湯オーナーの経営支援

Amix News
改修工事 事例ご紹介
旧高砂湯
公衆浴場が生まれ変わりました!!
完成!!
是非お電話にて相談ください

▲銭湯に定期的に配布している冊子

などは、アミックスが窓口となり各専門の工事事業者を手配。銭湯オーナーの手間を減らすことにつながっている。

全国公衆浴場業生活衛生同業組合連合会（東京都千代田区）による組合加入銭湯数データによると、銭湯の数は1968年の1万7999軒をピークに減少し、24年は1653軒となった。約50年で全体の約9割が廃業している。アミックスで銭湯事業者の廃業後のサポートをした際は、土地の売却と賃貸経営などの事業転換で半々だった。

本社営業部の加園忍次長は「銭湯事業を続けるサポートを継続的に行ってきた。相続対策や事業転換などの提案もしている」と話す。過去には銭湯から保育園へ転換した事例もある。

アミックスでは毎月都内の公衆浴場施設向けに「浴場だより」を配布し、銭湯オーナー向けの情報発信の取り組みを続けている。「銭湯サポートに特化している事業者はあまりいない。今後も銭湯オーナーに有益な情報発信などを続けていきたい」（加園次長）

東京都内を中心に約1万戸を管理するアミックス（東京都中央区）は、銭湯オーナーとの関係性を深めている。「銭湯サポート倶楽部」を発足し、取り組みを強化してきた。公衆浴場の大規模修繕提案のほか、経営が困難になった際には事業転換の相談への対応も行っている。

銭湯サポート倶楽部とは、銭湯経営を行っている事業者の支援に特化したチーム。東京都内の公衆浴場を中心に、エリアごとの担当者4人が定期訪問をしている。年間で30〜40件の改修工事のほか、賃貸住宅やテナント



▶建て替えにより浴場と賃貸の複合ビルとなった事例